



新オレンジプランの推進は

原 裕司議員

地域で支えるサポーターを広げる
健康福祉部長

		市世帯数 23,101									
区分	佐屋地区1		佐屋地区2		立田地区		八開地区		佐織地区		
高齢者のみ世帯(ひとり暮らし含む)	須 依	305	大 井	410	南川並	52	鵜多須	40	南堤外	57	
	北一色	273	西 保	302	早尾下	42	東 赤目	26	藤浪団地	57	
	佐 屋	151	大 野	157	大 森	28	下東川	16	河 畔	63	
	4,949	2,388		478		275		1,808			
ひとり暮らし高齢者	須 依	136	大 井	140	山路東	21	鵜多須	14	草平団地	45	
	北一色	96	西 保	99	早尾下	18	川 北	11	河 畔	30	
	日 置	67	大 野	73	南川並	16	東 赤目	11	五軒家第1北河田	26	
	2,010	923		209		114		764			

▲ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみ世帯の多い地区

問 地区別の高齢者世帯等の状況は。

答 日常生活圏域ごとに特色があり、佐屋・佐織地区と比較して立田・八開地区は、高齢者のみで生活している割合が低い。

問 地域包括支援センターで行っている相談内容は。

答 家事が十分できない、外出の機会が少ない、高齢者虐待の疑われる等の相談がある。

問 高齢者虐待の主要因と傾向は。

答 身体的虐待が全体の6割を占め、80歳代の女性の被害が最も多い。認知機能の低下により、日常生活に介護が必要な高齢者が、男性配偶者や子どもから暴力を受ける傾向がある。

問 その対応は。

答 地域ケア会議で被害を防ぐため、高齢者施設等の緊急一時的な居室を確保し対応する。

問 新オレンジプランの推進は

答 認知症のある人やその家族を地域で支えるサポーターを広げるため、認知症サポーター講座を開催し、認知症の方の対応方法を確認する。

問 認知症カフェとは。その活動内容は。

答 民間企業が佐織地区で1カ所定期的に運営し、認知症のある高齢者やその家族、地域住民、介護福祉の専門職を対象に体操やレクリエーション、講話などを行っている。



▲佐織地区にある認知症カフェ